

ケニスが取り組む教育 CSR について

「楽しくなければ理科ではない」をスローガンに、多様な教育 CSR と事業活動を通じ、科学教育発展のために、教育現場に様々な提案を行っています。

1947年に教育用理化学機器の製造・販売会社としてスタートしたケニスは、その後、研究用理化学分野にも進出し、教育から研究まで幅広くサポートする企業として現在に至っています。全国に6ヶ所の事業所があり、学校を始めとする教育機関、大学などの研究機関へ商品を届けております。

当社は「楽しくなければ理科ではない」をスローガンに、子どもたちに豊かな自然体験や実験観察を通じて科学する心を育み、将来世界で活躍する科学技術系人材の育成に寄与しております。また、エネルギー教育や環境教育、ICT教育、防災教育などにも力を注いでおり、教育現場の要請に応える製品開発を進めております。

ケニス株式会社の概要

(2022年3月1日現在)

社名 ケニス株式会社
創立 昭和22年5月8日
代表者 西松正文
本社 〒530-0043
大阪市北区天満 2-7-28
TEL.06-4800-0721(代表)
営業所 東京・福岡・広島・札幌・仙台
資本金 8,000万円
グループ会社 増田理化学株式会社



教材の拡充

子どもたちの意欲を駆り立て、限りなき可能性を引き出す製品づくりをこれからも目指していきます。

創業以来、科学の感動を子どもたちに届けることを目的に、製品開発を続けてきました。理科教育振興法に基づいた実験器具の開発をベースに、常に新しいカリキュラムに対応し、最新の素材や技術の導入してきました。また、海外の優れた科学教材の日本への導入や大学の知見に基づく新教材の共同開発を積極的に行っています。

海外教材の発掘



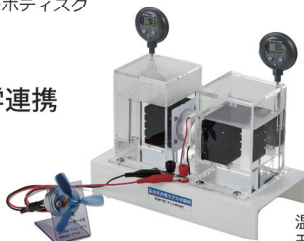
ラボディスク

最新の技術を導入



顕微鏡
カメラシステム

産学連携



温度差発電
モデル実験器

地球的な課題を知る

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地球全体で考えるべき課題に対しても積極的に提案を行います。

SDGsを始め、環境問題やエネルギー、防災など地球全体で考えるべき課題に関しても理科教育を通じて積極的に提案を行っています。

科学を伝える

教材メーカーとして製造+αを

教材の開発だけではメーカーとしての責任は果たせないと考え、指導方法や最先端の実験プログラムの提案、直接子どもたちへ科学技術への興味・関心を引き出す活動を続けています。



社会人講師の実施



全国の学校で出前授業を実施

教員研修をサポート



理科部会や教員養成課程で実験のポイントを紹介

実験プログラムの提案



SSHやSPPなどの最先端の実験プログラムもサポート

TOPICS

社会 科学の甲子園・甲子園ジュニアへの協賛

優秀な中学生・高校生が全国レベルで集まり、知識と技能を競う科学の甲子園・甲子園ジュニアを、第1回大会から協賛企業としてサポートし、日本の未来を担う中学生・高校生の活躍を応援しています。



社会 こどもエコクラブ

環境活動こどもエコクラブの「クラブ活動フォトコンテスト」に協賛しています。本クラブは幼児から高校生まで誰でも参加でき、全国のクラブから寄せられた活動報告の写真をもとに、元気なクラブの様子をアピールするクラブ活動フォトコンテストを開催しています。ケニス賞受賞者に教材を贈呈することで、クラブ活動をサポートしています。

ケニス賞



社会 JICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加

開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの支援を目的とした、JICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加し、顕微鏡、手回し発電機、上皿てんびんなどの教材をエチオピアへ寄贈しました。



社会 教材開発コンテストに協賛

全国小学校理科研究大会にて開催された教材開発コンテストに第1回から協賛を行い、ケニス賞として顕微鏡を贈呈しています。理科教育に携わる全ての方々にケニスはこれからも支援していきます。



環境 環境への取り組み

2004年から6年間、弊社では「ISO14001」認証を取得し、環境活動に対するノウハウを蓄積してきました。現在では自社独自のルールを規定し、それに基づいた環境活動を行っています。



社会 被災地支援を行っています

東日本大震災で、多くの子どもたちが過酷な状況に置かれている中、ケニスができることは何かを考え、復興支援授業の実施や(財)日本理科教育振興協会の支援事業に参加、顕微鏡などの教育用理科機器を被災地の学校へ寄贈いたしました。実験や観察の機会を通じて、子どもたちの笑顔が戻ることを心より願っています。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



受賞 エネルギー・環境教育の推進

環境教育プログラムやエネルギー環境教育用教材の開発、また環境に優しい商品作りや梱包材の利用を長年にわたり、取り組んできました。その結果、大阪市より評価を受け、大阪市環境表彰を受賞しました。現在では環境教育研究会での講演や自治体の省エネ推進事業に協賛も行っていきます。



社会 科学館へ教材を寄贈

学校はもちろん、科学館などでも観察や理科実験を通して、子どもたちの「発見・ときめき」する心を育むことができるように、全国科学館連携協議会加盟の科学館に上皿てんびんの寄贈を行っています。

